

1 馬毛島工事は自衛隊の課題と問題点等（最新機材運用の可能性）

- ① 自衛隊の大規模な新設工事であり、確実な工事を期待したい
- ② 米軍も離発着訓練に使用するので、高度な秘匿性が求められる。（米軍基準）
- ③ 工事段階で盗聴装置、監視装置に通信装置の混入等危険な妨害の恐れがある。
- ④ 島における工事であり、人材が集まりにくい。⇒ 低レベルの作業員が来る。
- ⑤ 離島基地内の工事は抗堪性等の見地から、スパイが参入する危険性が大きい。
- ⑥ 工事に伴い治安が悪化すれば、自衛隊基地の反対運動につながる恐れがある。

2 自衛隊OBの特徴

- ① 一定の訓練を受けているので指揮系統に従い、組織的に整齊と仕事ができる。
- ② 最低限の身元調査は完了しているので、一般の作業員に比べて身元が安全
- ③ 若年退職で、気力体力を保持しており、責任感と信頼性が高い。
- ④ 国家・国民に貢献するという使命感を持っている。（一般作業員に比べて）

3 馬毛島工事に自衛隊OBの活用の提案

- ① 自衛隊OBは規律を重視し、身元が確認され、組織的な活動を得意とする。
- ② 自衛隊施設の作戦上の必要性、秘匿性に関する知識と経験を有する。
- ③ 自衛隊OBのみの組織であれば更なる能力を発揮する。（集団で活動が得意）
- ④ 自衛隊OBの行動が他の作業員の模範となり作業場の規律維持に貢献できる。

4 (財)災害支援財団の対応

- ① 自衛隊OBのコミュニティを作り、相互扶助の目的で情報交換の場を構成する。
- ② 必要に応じてゼネコン等に自衛隊OBの活用を提案する、

5 必要な人材

- ① 自衛隊の作戦や自衛隊施設整備に熟知したコンサルタント業務等の担当者
- ② 工事現場における実働作業員 大型運転免許、重機等各種免許保有者が有利
- ③ 現場監督、宿舍管理、経理・補給等の後方支援、重機の整備修理等の担当者
- ④ 住民の安心安全の確保の担当者（安全管理、安全パトロール、警護等）

6 対応予定

- ① 東京に本部事務所
- ② 鹿児島市に財団の鹿児島事務所（自衛隊OBとの連携）
- ③ 種子島島内及び馬毛島内に現地事務所（予定）